



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2009.10.20

No. 33 - 22

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail: office30@alpajapan.org

HAC 乗員組合

JALグループ内存続を

利用者に訴えました！！

2009年10月8日

丘珠空港にて乗降客にビラを配布



= 突然、JALI からの切り捨て報道 =

2009年9月 JALI 経営は経営再建策の一つとして、HAC 社の持ち株のほとんどを放出すると報道されました。HAC 乗員組合や HAC の職場に働く人たちにとってもまさに「寝耳に水」のことであり社内には動揺が広がりました。

新政権による判断で当初発表された有識者会議による経営改善策は HAC 問題を含めて「白紙」状態ではあるものの、HAC の切り捨てが実施される可能性が大いに考えられます。

= 利用者国民とともに =

HAC 乗員組合では JALI グループ系列ではなくなることによる安全性の確保への不安や利用者の利便性の低下、HAC で働く従業員の職場確保等々を考えれば JALI グループ内の存続が必要であるため HAC 経営に存続を要求してきました。

そして北海道民を始めとする利用者にとっても極めて重大なことであることから、HAC 乗員組合は日乗連の支援のもとで利用者の方々やマスコミ等への訴えを行うことを決定しました。

最初の活動として HAC 乗員組合は 2009年10月8日、日乗連や航空連そして A-NET 乗員組合とともに北海道丘珠空港において乗降客の方々にビラを配布し、HAC 社の JALI 内の存続を訴えました。

HAC 乗員組合によれば、今回の活動を知った朝日・読売・毎日・日経・北海道等の新聞社や NHK、UHB、HTB、TVH、HBC 等テレビ各局がカメラ取材に駆けつけました。ビラを受け取った利用者の方々からは乗員組合への批判、非難等は全くなく「頑張ってください」「署名活動をやったらどうか」「JALI の便として継続してほしい」等々激励や支援、協力する旨の言葉が多くかけられ私たちは大変勇気づけられました。

また当日の 18:40 頃にはテレビ各局が一斉に報道し、翌日の新聞各紙にも写真入りで大きく報道されました。利用者への最初の訴えとして大きな成果だと言えます。

= あいとあらゆる取り組みを行います =

HAC 乗員組合は JALI 内の存続への理解を求めて、これからも利用者国民の方々、マスコミ、北海道庁や各地市役所や村役場、道議会始め各地の地方議会、商工会議所等関係者への訴えを始め、ありとあらゆる活動を企画検討しています。

日乗連では今回の HAC 乗員組合の活動を全面的に支援することを決定しており、今後の活動に積極的に参加していきます。他の JALI グループ内航空会社の皆さんにとっても重大な関心事でしょう。今後の HAC 乗員組合の活動への参加をお願いするとともに、これからの政府や JALI 経営の動きには動揺することなく、また謂れのない噂話等に惑わされることなく、情勢の変化に乗員組合として臨機応変に対応できるよう執行委員会の体制を整えることをお願いします。